
目次

- 【01】 事業報告1
 - 外国人のための「1日インフォメーションサービス」開催
- 【02】 事業報告2
 - 大阪府海外移住家族会 平成23年度総会・講演会開催
- 【03】 お知らせ
 - 大阪府海外短期建築・芸術研修生招聘事業 研修生決定のお知らせ
 - 大阪・関西の元気を中国に向けて発信！——大阪PRビデオ撮影に参加しました。
- 【04】 大阪府外国人情報コーナーだより
 - 自転車防犯登録
- 【05】 事業紹介
 - 大阪国際クラブ
- 【06】 OFIX国際交流員のレポート
 - フィリピン語とタガログ語

【01】 事業報告1

■外国人のための「1日インフォメーションサービス」開催

日本で暮らす外国人の多くは、母国と異なる社会教育制度、公的機関での手続きなど、日常生活の中で多くの不自由を感じています。こうした外国人の不便や悩みを解消し、大阪で快適に暮らせるよう、法律、人権、出入国・在留、労働、職業、保険年金、税金、医療、進学、子育て、生活相談等各方面の専門機関が一堂に会し、無料で外国人からの相談に応じる今回で20回目の外国人のための「1日インフォメーションサービス」を6月26日(日)大阪国際交流センター(アイハウス)にて開催されました。

当日は通訳スタッフとして、英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語、フィリピン語、インドネシア語、タイ語の9言語のボランティアの方に相談者と各機関の専門家との意思疎通をサポートしていただきました。特にOFIXとしては5月に3回開催したコミュニティ通訳研修に参加された通訳ボランティアの方々にもご参加いただき、合計18名の通訳ボランティアの皆様にご協力いただきました。

研修の内容と相通ずるような相談内容もあり、ボランティアの皆様からは「依頼者たちが大変満足しているようでした」「多くの専門家がいたので、いろいろな問題に対応できてよかったと思う」等のポジティブな意見が多く寄せられました。又事前電話予約制にすることにより、当日、よりの確なアドバイスをすることができるのでは等の意見も頂きました。

当日は26カ国・地域から94名の外国人の方々が相談に来場され、相談内容の件数からみると、出入国・在留に関して44件、法律相談18件、職業16件、労働・年金13件、その他合計で161件の相談があり、OFIXが担当した生活相談ブースでは10件の相談があり主なものとしては「離婚相談」「公営住宅への入居希望」「来日希望の子供の仕事について」等多岐にわたる内容でした。

今後も、通訳ボランティアの皆さんのご意見や、相談者のアンケート結果を分析して実行委員会の中で、より効果的な周知方法、内容の充実を図りたいと考えております。

OFIX通訳ボランティアの皆様、ご協力有難うございました。

【02】 事業報告2

■大阪府海外移住家族会 平成23年度総会・講演会開催

大阪府海外移住家族会は、6月21日(火)、マイドームおおさかにおいて大阪府海外移住家族会 平成23年度総会・講演会を開催いたしました。

総会では昨年度決算と事業報告、今年度の予算及び事業計画などについて話し合われ、新しい役員就任も報告されました。来賓としてJICA大阪、大阪府からもご臨席頂き、橋下府知事並びに海外日系人協会の岡野理事長から、お祝いのメッセージが寄せられました。

総会後には、新しく会計に就任された会員の浅井 幸一様より「パラグアイでの経験から」という題目で講演会が開かれました。移住後の開拓生活での困難や試練、それを乗り越え、現在では日系人の地位が確立され向上していることなど、非常に興味深い講演をいただきました。

総会・講演会終了後には交流会が行われ、それぞれの近況報告や、『拓魂』『がんばれ二世』など、移住者の思いを表した曲の合唱で、交流を深めました。

☆大阪府海外移住家族会は、海外（主にブラジル、パラグアイなど中南米）への移住者の留守家族による情報交換などを目的に、昭和37年に発足、現在OFIX内に事務局を置き、移住者の家族のほか、海外に興味を持ち、海外日系人との交流に積極的な方などにも参加いただいております。興味のある方は、当財団までお気軽にご連絡ください。☆

【03】お知らせ

■大阪府海外短期建築・芸術研修生招聘事業 研修生決定のお知らせ～

平成23年度大阪府海外短期建築・芸術研修生招聘事業 研修生は、以下の様に決定いたしました。尚、氏名・所属など、個人情報が入る情報の掲載は差し控えております。

出身国	性別	年齢	専攻	専門
タイ	女性	28	建築	設計
インドネシア	男性	27	建築	設計
インドネシア	男性	27	建築	設計
中国	女性	26	建築	都市設計 建築
ベトナム	男性	28	建築	設計
スリランカ	男性	26	建築設計	設計
ネパール	女性	28	建築	都市設計 設計
インド	女性	25	建築保全	設計 建築

■大阪・関西の元気を中国に向けて発信！——大阪PRビデオ撮影に参加しました。

東日本大震災の影響を受け、中国からの訪日観光客数が激減している中、訪日観光客の回復による大阪・関西の活性化を図るため、大阪府国際交流・観光課は関西在住の中国人留学生が大阪・関西の現状やお気に入りスポットを語るナマの声を収録し、安心して旅行できる環境や都市魅力など大阪・関西の元気を映像で中国に発信しようと、6月10日の夕方に、大阪城が見える大阪府庁の一室で大阪PRのビデオ撮影を行いました。

OFIXでは大阪の外国人が暮らしやすい都市作りに一役買い、多言語情報提供をはじめ、様々な活動を行っており、今回のビデオ撮影にも中国籍の職員一名（元留学生）、OFIXが管理するオリオン寮の寮生二名が積極的に参加しました。

撮影は、自己紹介、関西・大阪のお気に入りスポットやグルメ紹介、東日本大震災が起こった時の周囲の様子、現在の関西・大阪の街の様子を会話形式で進行了しました。

このビデオは7月14日～16日に、中国の上海新国際博覧中心で開催されるイベント「ALL JAPAN SHOW IN CHINA」の大阪ブースで上映される予定です。当イベントは中国百貨商業協会、一般社団観光振興懇話会の主催で、日中の観光・交易促進の観点から、中国全土の百貨店代表やバイヤーなど2万人以上が動員される、ビジネス構築、地域産業の発展のためのイベントです。

このビッグイベントで、留学生のメッセージビデオによって、大阪の観光魅力のPRに役立てれば、幸いです。またこのビデオはこのイベント以外に観光プロモーションなどの活用も予定されています。

OFIXは今後も大阪の発展のために尽力します。

【04】大阪府外国人情報コーナーだより

■自転車防犯登録

大阪で自転車に乗るには、「自転車防犯登録」が義務付けられています。自転車の持ち主を特定するための制度です。罰則規定はありませんが、盗難の場合は戻ってくる可能性が高くなります。また、自転車に乗っていて警察の職務質問を受けた場合も、すぐに自転車の所有主が特定されるので、外国人の方で十分に説明ができず警察に疑われる心配が少なくなります。自転車を新規に購入した場合

は自転車販売店で登録を行います。登録カードに住所、氏名などの必要事項を記入し、500円の登録料を支払います。友人などから譲り受けた場合も同様に前所有者の登録カードまたは「譲渡証明書」と新しい所有者となる人の身分証明書および自転車自体を持って、「自転車防犯登録所」の看板を掲げている自転車販売店で防犯登録の手続きを行います。登録されたデータは大阪府警で保管されることとなります。またこれとは別に自転車保険も利用できます。盗難の場合をカバーする盗難保険だけでなく、自転車が加害者となるケースに対応する、自転車事故対象の賠償保険もあります。

◎大阪府外国人情報コーナー
(月-金曜日(祝日を除く))
(対応時間: 9:00 - 17:30)
専用電話: 06 - 6941 - 2297 F A X: 06-6966-2401 E-mail: jouhou-c@ofix.or.jp
対応言語: 英語、中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語、フィリピン語、タイ語、日本語

[05] 事業紹介

■大阪国際クラブ

当クラブは国際交流や国際協力、ボランティア活動に関心のある府民と、在阪・在外の外国人が当クラブの活動を通じて、お互いの親睦と交流を深め、海外と日本に住む会員同士での教育的、または文化的な交流を行い友好の輪を大阪から世界へと広げていくことによって相互理解、多文化共生の社会の構築、グローバルな視野を持つ人材育成に寄与することを目的とし、互いが将来にわたり繋がり育成できる取組みをしていきます。クラブではメールマガジン「国際クラブニュース」の配信及び会員のための講座開設などの活動を企画しております。

活動内容(予定)

- [1] 大阪在住外国人会員のための「日本文化理解」に関する講座開催予定
(例: 茶道や着付け体験など)
- [2] 日本在住外国人会員による「国際理解教育」に関する講座開催予定
(例: 遠隔で国内、海外在住会員とのワークショップなど)
- [3] 会員のための勉強会・討論会
(今後のクラブの企画や多文化理解などに沿ったテーマなど)
- [4] WEB上で海外在住会員との交流会
- [5] メールマガジン「国際クラブニュース」(多言語による)の配信。

クラブの詳細・登録はこちら<http://www.ofix.or.jp/club/index.html>

[06] OFIX国際交流員のレポート

■フィリピン語とタガログ語

皆さん、こんにちは! OFIX国際交流員のアルビンです。夏が来た!!!今の日本はフィリピンより暑い!!皆さん、熱中症にご注意ください。水をたくさん飲みましょう。

先月フィリピンの言葉についてよく聞かれていました。フィリピンの国語はなんなの?タガログ語?フィリピン語?混乱している人は少なくありません。なので、今回はまた言語学的な話になりますが、フィリピン語とタガログ語について話したいと思います。

フィリピンには多くの言葉が存在します。しかし、主に使われている言葉は8つあります。それはセブアノ語、ビコル語、ヒリガイノン語/イロンゴ語、ワライ語、カバムパンガン語、パンガシナン語とタガログ語です。タガログ語はマニラとその近辺に使用されている言語です。タガログ語はマレー・ポリネシア語のグループに所属していて、インドネシアとマレーシアの言葉と似ている部分があります。333年もスペインの植民地とされたことでスペイン語の言葉が多く入ってしまいました。約4000語のスペイン語の単語はタガログ語で使われていると言われています。多く入った言葉は名詞です。例えば、「silya, mesa, relo」(いす、テーブル、時計)です。時間に関する表現はスペイン語を使っています。例えば、「a la una, a las dos, a las tres y media」(1時、2時、3時)や「Lunes, Martes, Miyerkules」(月曜日、火曜日、水曜日)や「Enero, Pebrero, Marso...」(1月、2月、3月)などがあります。第2次世界大戦が終わってから、アメリカの英語教育の結果英語の言葉も入ることになり、例えば、「guro」(先生)は「titser」(teacher)、「lipagpaumanhin」(すみません)は「sori」(sorry)、「pisara」は「blakbord」(blackboard)みたいに使う言葉が変わってきました。主にスペイン語と英語の言葉を取り入れたものは現在のタガログ語です。

タガログ語以前にフィリピンの国語と呼ばれる言語がなく、1937年に設置された国立言語研究所がフィリピンの国語のもとになる言語をタガログ語に設定しました。しかし、他の地域の人から（特にセブアノ語を話す人々）クレームが出始めたことがきっかけで、1961年にこの新国語は「ピリピノ」と名付けられ、1972年に「フィリピノ」＝「フィリピン語」に改称されました。

フィリピン語とタガログ語の違い
フィリピン語とタガログ語の文法と単語は基本的に同じです。唯一の違いは発音と使う文字です。タガログ語のアルファベットは（全て19文字）「a b k d e g h i l m n n g p r s t u w y」で、現在のフィリピン語のアルファベットは（全て28文字）「a b c d e f g h i j k l m n n ñ o p q r s t u v w x y z」です。

もともとフィリピン語は他のフィリピンの言語も取り入れるはずでしたが、実際は他の言語からの言葉は取り入れられていません。フィリピン語の標準語化は現在の課題で、本当の「国語」ができるまではフィリピン語とタガログ語はほぼ同じものと言っていいです。会話ではタガログ語を使っているかフィリピン語を使っているか区別するのは難しいですが、書いた文章なら、使われている文字を見ればすぐ分かります。

★大阪府メールマガジン情報★ 『GEO (Global E-net Osaka) 』
大阪で開催されるイベント・大阪の名所・大阪に関する豆知識等を紹介するメールマガジンです！
⇒ <http://www.pref.osaka.jp/kokusai/geo/index.html>

★その他の募集・お知らせ★
※大阪府外国人情報コーナー登録相談員（ポルトガル語）を募集します
⇒ <http://www.ofix.or.jp/news.html>
※イベントカレンダー：国際交流に関するイベント情報を紹介しています。
⇒ <http://www.ofix.or.jp/cgi-bin/calender.cgi>
※イベントカレンダーへの情報提供をお待ちしています。
⇒ <http://www.ofix.or.jp/cgi-bin/event.cgi>
※国際理解学習の授業（小中高）に国際交流員や留学生等を派遣します。
⇒ <http://www.ofix.or.jp/jigyoku/index2.html>
※OFIXボランティアの登録制度のご紹介
⇒ http://www.ofix.or.jp/boran/index3_1.html
※OFIX賛助会員の募集及びご寄付のお願い。
⇒ http://www.ofix.or.jp/ofix/index4_1.html

≫≫ OFIXニュースについてのご意見、ご感想はこちら
⇒ info@ofix.or.jp

≫≫ 大阪国際クラブの会員の皆様からの海外情報（レポート）はこちら
⇒ clubnews@ofix.or.jp

≫≫ 配信中止、配信先変更はこちら
⇒ <http://www.ofix.or.jp/mail/index.html#japanese>

≫≫ 「OFIXニュース」印刷版はこちら ※写真入りで内容も詳細に。
⇒ http://www.ofix.or.jp/mail/backnumber/mail_japanese_no36.pdf

≫≫ バックナンバー
⇒ <http://www.ofix.or.jp/mail/backnumber.html#japanese>

☆☆
発行：(財)大阪府国際交流財団（OFIX）
〒540-0029 大阪府中央区本町橋2-5 マイドームおおさか5階
TEL 06 (6966) 2400 FAX 06 (6966) 2401
☆☆